



我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO₂削減支援事業

2019年度予算（案）
253百万円(253百万円)

環境再生・資源循環局
総務課循環型社会推進室

背景・目的

アジア諸国を中心に、都市人口と廃棄物発生量が急増し、エネルギー需要が高まるとともに処分場の立地制約や崩落・火災事故等の被害が顕在化している。他方で、大量に発生する廃棄物はエネルギーを生む重要な資源であり、廃棄物エネルギーの市場が急速に創出・拡大する今後数年間の事業化を重点的に後押しすることで、我が国の優れた廃棄物エネルギー利用技術をスペックインさせ、適正な技術のデファクト・スタンダード化を図る必要がある。

こうした状況を踏まえ、本事業では、技術や経験を有する我が国循環産業の国際展開を後押しすることにより、アジア諸国等でのCO₂の大幅削減と廃棄物処理に貢献する。(※日本再興戦略やインフラ輸出戦略に記載)

事業概要

I. 循環産業国際展開モデルの構築(補助) 203百万円(203百万円)

先進的な廃棄物発電事業の国際展開の実現可能性調査等について、廃棄物分野の二国間協力や自治体間連携、温対法排出抑制等指針、CO₂削減効果等を考慮しつつ、補助を実施。

II. 循環産業国際展開モデルの拡大支援(委託) 50百万円(50百万円)

新たな廃棄物発電事業の実施に当たり、発電効率や安定性等の質の高さが確実に評価されるよう、発注や契約に関するノウハウを持った支援機関を当該国へ派遣し、優れた廃棄物発電事業の拡大を支援することで、CO₂の更なる削減に貢献。

事業イメージ

案件発掘

案件形成

事業化

発注・契約制度構築支援

(H26～28)
循環産業の国際展開に係る
海外でのCO₂削減に向けた実証支援事業

(H29～)我が国循環産業の戦略的国際展開による
海外でのCO₂削減支援事業(FS等)

事業実施

資金調達
政府関係機関
開発金融機関
JCM
等

(H30～)我が国循環産業の戦略的国際展開による
海外でのCO₂削減支援事業(発注・契約制度構築支援)

国際事業展開
モデル確立

モデルを利用した水平展開

廃棄物・リサイクル政策との連携によるパッケージでの支援（他予算も活用）



廃棄物発電導入を包括的にサポートする
支援プログラム（インドネシア）



有機廃棄物メタン発酵設備（ホーチミン）



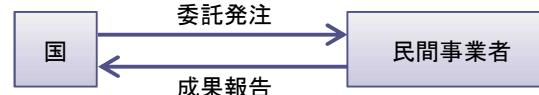
廃棄物発電施設竣工（ヤンゴン）

事業スキーム

I. 循環産業国際展開モデルの構築(補助)



II. 循環産業国際展開モデルの拡大支援(委託)



事業期間:H30年度～32年度(2020年度)

期待される効果

- 42年度(2030年度)までに6件の事業化等により、約32万tCO₂/年(2030年度時点)削減。
- 国際展開経験が少ない我が国循環産業の国際展開を後押しし、途上国におけるCO₂の排出削減を図るとともに廃棄物問題を改善し、我が国経済に貢献する。